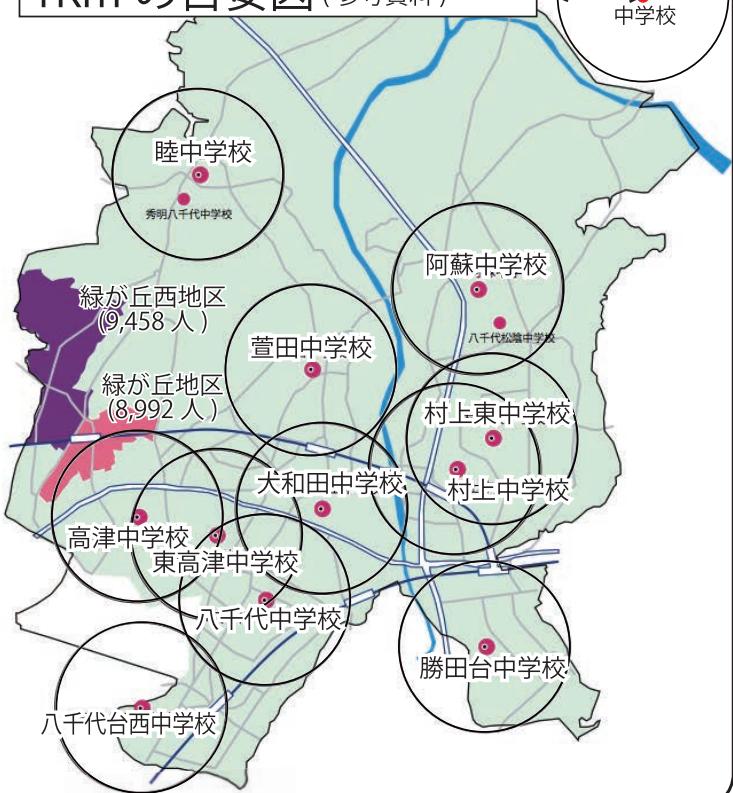


令和4年第4回定例会 個別質問 飯川英樹
八千代市内の中学校から
1Km の目安図 (参考資料)

《凡例》

1 Km
中学校



「地域の環境改善、発展のためにも学校が必要」

いいかわ議員は、19年3月の初議会で、「地域の環境改善、発展のためにも中学校が必要」と要求しましたが、教育長は「今後6年間は新設校は必要ない」と答弁。

その後、繰り返し小中学校の設置を求めてきました。

《4年16回の一般質問で10回改善を提起》

19年3月 地域の発展のためにも中学校を

同6月 緑が丘西に中学校の設置を

同9月 緑が丘周辺の中学校問題

21年3月 学区に振り回される子どもたち

同6月 緑が丘西地区に中学校を

同12月 緑が丘西地区に中学校設置を

22年3月 緑が丘西地区の学校問題

同6月 西高津小に通う子どもたちの問題

同9月 緑が丘西地区に中学校設置を

同11月 緑が丘地域の学校問題

いいかわ市議が作成し議会に配布した資料

駅に近い人口集中地域に中学校が無い

八千代緑が丘駅に隣接する緑が丘西地区に9,458人、緑が丘地区に8,992人、計18,450人が居住し、市人口の約1割(9.1%)を占めています。

いいかわ市議は、「八千代市内の中学校から

1 Km の目安図」を作成し、議会で改善を訴えました。ひと目で緑が丘地域が中学校空白地域であることがわかります。緑が丘西地区は学区が分割され、子どもたちは毎日遠く離れた陸中学校と高津中学校に通っています。

「あらゆる可能性について検討する」

いいかわ市議は「目安図」を示し、「緑が丘西地区だけでなく、緑が丘地区も含めた駅周辺に中学校が全くないのは問題」と指摘し設置を求めました。

これに対して教育委員会学務課は「状況の変化を見定めながら、新たな設置も含めあらゆる可能性を否定する事なく、引き続

き検討していく」と答えました。

「新設校の必要はない」との以前の答弁から、教育委員会の姿勢を大きく変えることができましたが、土地の手当など課題は残ったままです。

引き続き市民のみなさんと一緒に一日も早い中学校設置に向けて取り組んでまいります。